

## 評価・FD研究部門 事業報告

### 1. はじめに

評価・FD研究部門は、全学教務委員会の評価・FD教育改善専門部会の下で、「学生による授業評価」および「長崎大学FD・SD」の事業を行っている。以下、その実施概要を報告する。

### 2. 平成22年度『学生による授業評価』実施状況

#### 2.1 概要

長崎大学では、平成14年度から全授業科目を対象として『学生による授業評価』を実施している。本学では、『学生による授業評価』を総括的に捉えるために表1のような全学共通項目を設けている。この全学共通項目に加え、全学教育（1～2年次生）においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー（評価項目の集まり）として設定している。さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできるようになっている。また、学生の選択肢は全ての設問に共通で表2のようにになっている。

表1 全学共通項目

設問1	シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
設問2	授業は目的達成のため計画的に進められた。
設問3	授業担当者の教え方は適切だった。
設問4	授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行った。
設問5	自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
設問6	自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
設問7	総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

表2 学生の選択肢

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらともいえない
どちらかといえばそう思わない
そう思わない

#### 2.2 受付状況および実施状況

平成22年度の受付状況および実施状況は表3に示す通りである。

表3 平成22年度の受付状況および実施状況

受付件数	4,157件
印刷枚数	160,291枚
実施件数	3,369件
回収枚数	109,957枚
回収率(%)	68.6%

表3よりわかる通り、平成22年度においては4,157件の申し込みがあり、事前の取り消しや未実施のものを除くと3,369件が実施された。また、総印刷枚数は160,291枚で、回収枚数(実際に回答された枚数)は109,957枚となっており、回収率は約68.6%であった。

#### 2.3 集計結果の概略

平成22年度に実施された授業評価3,369件の内、全学共通項目を含む授業評価1,618件の集計結果は表4、図1のようであった。

表4 全学共通項目を含む授業評価の集計結果

	5	4	3	2	1	総数
設問1	33,557 45.9%	28,740 39.3%	9,249 12.6%	892 1.2%	714 1.0%	73,152 100.0%
設問2	33,620 46.0%	28,083 38.4%	8,989 12.3%	1,613 2.2%	842 1.2%	73,147 100.0%
設問3	32,038 43.8%	25,472 34.8%	11,024 15.1%	2,869 3.9%	1,707 2.3%	73,110 100.0%
設問4	27,321 37.4%	23,308 31.9%	16,194 22.1%	4,292 5.9%	2,009 2.7%	73,124 100.0%
設問5	21,336 29.2%	27,635 37.8%	19,170 26.2%	3,444 4.7%	1,540 2.1%	73,125 100.0%
設問6	25,329 34.6%	25,091 34.3%	15,479 21.2%	4,623 6.3%	2,603 3.6%	73,125 100.0%
設問7	28,021 38.4%	25,792 35.3%	13,154 18.0%	3,791 5.2%	2,247 3.1%	73,005 100.0%

5:そう思う, 4:どちらかといえばそう思う, 3:どちらともいえない,  
2:どちらかといえばそう思わない, 1:そう思わない

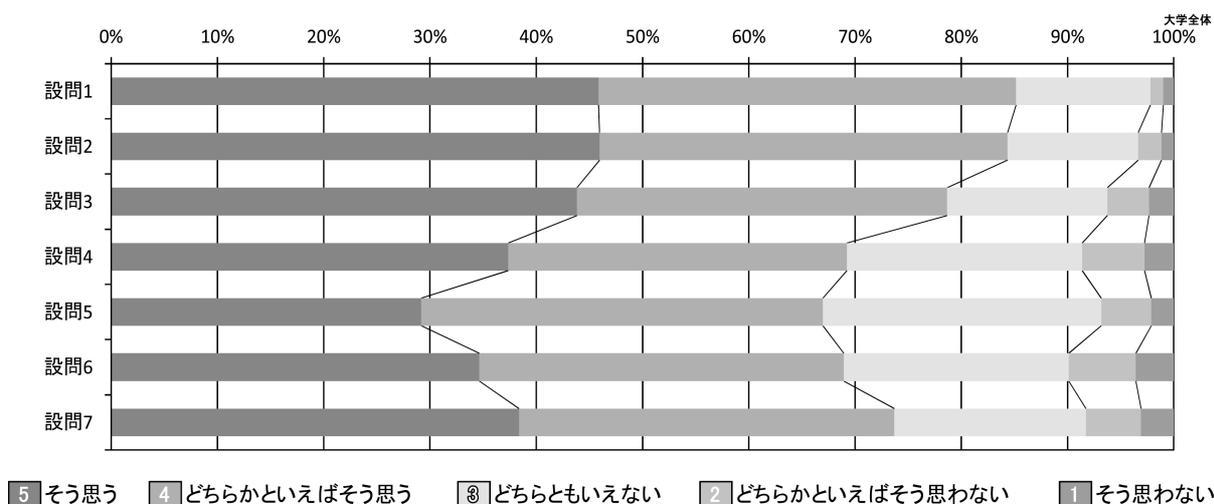


図1 全学共通項目を含む授業評価の集計グラフ

## 2.4 参考資料

- [1] 長崎大学公式ページ『大学点検・評価』→『学生による授業評価』:  
[http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln\\_jug\\_hyoka.html](http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln_jug_hyoka.html)
- [2] 長崎大学大学教育機能開発センター公式ページ『授業評価』:  
<http://www.rede.nagasaki-u.ac.jp/modules/tinyd0/>

### 3. 平成23年に実施した長崎大学FD・SD

当部門は、評価・FD教育改善専門部会と協力しながら「長崎大学FD・SD」の企画・運営を行っている。ここでは、平成23年1月から同年12月にかけて全教職員または全教員を対象に実施された集合研修について報告する。

#### 3.1 全学教育FD・SDワークショップ「アクティブ・ラーニング講座2」

##### (1) 趣旨

長崎大学の学士課程教育の充実に向けて、学生主体の学習形態(アクティブ・ラーニング)を様々な工夫していくことが求められている。今回の「アクティブ・ラーニング講座2」では、平成22年11月に実施した「教育革新キックオフ・シンポジウム」及び12月の「アクティブ・ラーニング講座1:多様なPBLを導入した授業方法」を受けて、学内のPBL実践の事例から学び合うとともに、グループ学習とレポート作成の効果的な指導方法が紹介された。具体的な授業技法が習得できるよう、いずれの研修もワークショップ形式とし、①概論的な講義、②実践事例と評価、③具体的な指導方法の体験的理解、④授業への導入計画立案の各要素を組み込んで、12:50~17:40の3コマ通しの時間帯で実施された。各ワークショップの概要は次の通りである。

##### ①ワークショップA アクティブ・ラーニング事例と導入へのヒント

ワークショップAでは、本学で行われているPBL等のアクティブ・ラーニングの事例を紹介し、実践上の留意点を整理した。それによって、新年度より各学部で実施される「教養セミナー」を始め、新たな授業開発の支援がなされた。

##### ②ワークショップB グループ学習の促進技法

PBLにおいては、グループ単位での活動が学習の柱になることから、教員にはグループ学習を効果的に運営・促進する技能が求められる。そこで、ワークショップBでは、特にディスカッションを有効に展開させるための様々な技法の紹介がなされた。

##### ③ワークショップC 学生の相互学習を取り入れたライティング指導法

初年次教育での日本語表現指導、特にライティング(レポート作成)の指導は十分に行うことが難しい。そこで、ワークショップCでは、学生間で相互に技能を高め合うことのできる授業方法の紹介がなされた。

##### (2) 対象

全教職員(非常勤含む)

##### (3) 日時

平成23年3月10日(木)

12時50分~17時40分 ワークショップA

平成23年3月14日(月)

12時50分~17時40分 ワークショップB

平成23年3月15日(火)

12時50分~17時40分 ワークショップC

##### (4) 場所

教育学部21番教室

##### (5) 参加数

ワークショップA 11名

ワークショップB 12名

ワークショップC 15名

##### (6) プログラム

時間	内容	講師
3月10日(木) ワークショップA アクティブ・ラーニング事例と導入へのヒント		
第1部 「学内PBL実践者からの報告」		
12:50~13:00	導入	山地弘起准教授 (大学教育機能開発センター)
13:00~14:00	報告	花田裕子教授(医学部保健学科)、亀田和彦教授(水産学部)、福田正弘教授(教育学部)
14:00~14:30	討論	
14:30~14:45	休憩	
第2部 「教養セミナーの事例」		
14:45~14:50	導入	山地弘起准教授 (大学教育機能開発センター)
14:50~15:20	報告	井ノ上憲司助教 (大学教育機能開発センター)

15:20~ 15:30	討論	
15:30~ 16:15	グループワーク	
16:15~ 16:30	コメント	高橋正克教授 (大学教育機能開発センター)
16:30~ 16:40	休憩	
<b>第3部 「新年度の授業実践に向けて」</b>		
16:40~ 17:40	討論	

<b>3月14日(月) ワークショップB</b> グループ学習の促進技法		
12:50~ 17:40	技法の紹介	安永悟教授 (久留米大学文学部)

<b>3月15日(火) ワークショップC</b> 学生の相互学習を取り入れたライティング指導法		
12:50~ 17:40	授業方法の紹介	大島弥生准教授 (東京海洋大学海洋科学部)

### 3.2 新任教職員研修「ウェルカムFD・SD」

#### (1) 趣旨

新任の教職員を対象に、長崎大学で職務を開始するにあたってのガイダンスを、例年同様2日間に渡って行った。1日目は、長崎大学が目指す教育、研究、社会貢献等に関する基本的知識を得ること、2日目は、歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行い、長崎大学に関わる歴史を知ることにより、長崎大学への帰属意識を深めることが目指された。

#### (2) 対象

平成22年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

1日目：第1部「長崎大学が目指すもの」、  
第2部「長崎大学の教育支援」

#### (3) 日時

平成23年4月4日(月) 13:50~15:50

#### (4) 場所

事務局第2会議室

#### (5) 参加数

①33名、②24名

#### (6) プログラム

時間	内容	講師
13:50~ 14:00	写真撮影	
14:05~ 14:10	挨拶	橋本健夫理事 (教学担当)
<b>第1部 「長崎大学が目指すもの」</b>		
14:10~ 14:50	「長崎大学のこれまでとこれから」	片峰茂学長
14:50~ 15:10	「長崎大学の教育について」	橋本健夫理事 (教学担当)
15:10~ 15:30	「長崎大学の研究について」	調漸理事 (研究・社会貢献担当)
15:30~ 15:40	「長崎大学の入試について」	山口恭弘副学長 (入試担当)
15:40~ 15:50	休憩	
<b>第2部 「長崎大学の教育支援」</b>		
15:50~ 16:15	「教育マネジメントとFD」	山地弘起准教授 (大学教育機能開発センター)
16:15~ 16:40	「ICTによる教育支援」	野崎剛一教授 (情報メディア基盤センター)
16:40~ 17:05	「図書館のサービス」	山本知美主査 (学術情報部)
17:05~ 17:20	まとめ	

2日目：第2部「長崎大学歴史散歩—150年をふりかえる」

#### (3) 日時

平成23年4月5日(月) 11:45~17:00

#### (4) 場所

長崎大学(文教・片淵・坂本各キャンパス)

#### (5) 参加数

28名

#### (6) プログラム

時間	内容	講師
11:45~ 11:50	挨拶	橋本健夫理事 (教学担当)
11:50~ 12:30	昼食会	
12:30~ 12:45	休憩・移動	

文教キャンパス歴史散歩		
12:45~ 14:00	三菱長崎兵器製作所の碑	橋本健夫理事 (教学担当)
	長崎師範学校原爆慰霊碑	
	中部講堂	
	「若人」の像	
	古写真展示室	下田研一班長 (学術情報部)
	環境科学部正門前(旧教養部建物)	橋本健夫理事 (教学担当)
	下村脩名誉博士顕彰記念館(薬学部)	池田理恵助教 (医歯薬学総合研究科)
お菓の歴史資料館(薬学部)	中島憲一郎副学長 (産学連携担当)	
休憩・バス移動		
片淵キャンパス歴史散歩		
14:30~ 15:45	拱橋	深浦厚之教授 (経済学部)
	長崎高商門標	
	瓊林会館・赤レンガ倉庫	柴多一雄教授 (経済学部)
	特別講演「高商100年と武藤文庫」	
武藤文庫展示室	宮脇千幸主査 (学術情報部)	
休憩・バス移動		
坂本キャンパス歴史散歩		
16:05~ 16:55	近代医学史料展示室	平林昇主査 (学術情報部)
	熱帯医学ミュージアム	堀尾政博教授 (熱帯医学研究所)
	原爆医学資料展示室	三根眞理子准教授 (医歯薬学総合研究科)
16:55~ 17:00	まとめ	

### 3.3 FD・SD セミナー「長崎大学の新たな教養教育の実施に向けて」

#### (1) 趣旨

平成24年度以降、長崎大学の教養教育はモジュールを中心として新しくなることを受け、モジュール編成や授業方法についての考え方を深め、実施案への理解を共有するために、関係する教職員を対象にFD・SDを開催した。

#### (2) 対象

教務委員長、教務委員、学務係長、係員、関係教職員

#### (3) 日時

平成23年7月25日(月) 16:00~17:30

#### (4) 場所

事務局第2会議室

#### (5) 参加数

SD参加者：31名、FD参加者：68名

#### (6) プログラム

時間	内容	講師
16:00~ 16:15	挨拶	片峰茂学長
16:15~ 16:40	モジュールの構成についての考え方	橋本健夫理事 (教学担当)
16:40~ 17:00	モジュール方式の授業方法	山地弘起准教授 (大学教育機能開発センター)
17:00~ 17:30	質疑応答	

### 3.4 FD・SD サマーワークショップ

#### (1) 趣旨

本ワークショップ・シリーズは、長崎大学の教職員が授業改善やコミュニケーション、教育支援等において十分に持ち味を生かせるようになることを目指して、毎年実施されている。ニーズの高い内容を精選し、実践にすぐにつながる学習形態を取り入れて、後期からの業務や授業の改善に効果が期待できるプログラム構成を試みている。

#### (2) 対象

全教職員(非常勤を含む)

#### (3) 日時

平成23年8月30日(火) 9:30~12:30

9月2日(金) 10:00~12:00

13:15~17:30

9月5日(月) 10:00~12:00

13:15~17:30

9月6日(火) 10:00~12:00

13:15~15:30

15:45~17:30

9月8日(木) 13:15~17:30

#### (4) 場所

文教キャンパス内

#### (5) 参加数

延べ137名

(6) プログラム

時間	内容	講師
8月30日(火)		
9:30~ 12:30	新任教授へのメッセージ ー長崎大学の課題と 展望ー	片峰茂学長、調漸理 事、鳥越定雄理事、 橋本健夫理事、東條 正理事
9月2日(金)		
10:00~ 12:00	学生の理解と支援のため にーA 学生参加の教育 改善へー	橋本勝教授(富山大 学)、清水亮教授(三 重中京大学)
13:15~ 17:30	アクティブ・ラーニング 講座 3-A 多人数討論 型の授業方法ー	橋本勝教授(富山大 学)、清水亮教授(三 重中京大学)
9月5日(月)		
10:00~ 12:00	アクティブ・ラーニング 講座 3-B 自然科学の PBL 事例ー	鈴木誠教授(北海道 大学)、杉本孝作教 授(四国学院大学)
13:15~ 17:30	アクティブ・ラーニング 講座 3-C 学習意欲を デザインするー	鈴木克明教授 (熊本大学)
9月6日(火)		
10:00~ 12:00	学生の理解と支援のため にーB 長大生の特徴と 課題ー	山口恭弘副学長、田 井村明博副学長、苑 田利弘就職支援班 長
13:15~ 15:30	新任教員へのメッセージ ーA 授業創造入門ー	山地弘起准教授 (大学教育機能開発 センター)
15:45~ 17:30	新任教員へのメッセージ ーWebClass 活用入門ー	丸田英徳助教 (情報メディア基盤 センター)
9月8日(木)		
13:15~ 17:30	コミュニケーション講座 ーわかりやすい話し方 のコツー	小田切めぐみ話し 方講師 (東京農工大学非常 勤講師・文京学院大 学非常勤講師)

3.5 長崎大学 新しい教養教育の実施に向けた  
FD「モジュール科目準備説明会」

(1) 趣旨

新しい教養教育の実施体制と教育方法について  
の理解を深め、モジュール科目の今後の準備に資  
する。

(2) 対象

全学モジュールのテーマ責任者

(3) 日時

平成23年11月21日(月) 13:00~14:30

(4) 場所

教育学部23番教室

(5) 参加数

23名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:00~ 13:05	挨拶	橋本健夫副学長
13:05~ 13:30	新たな教養教育について	片峰茂学長
13:30~ 14:10	実施体制と教育方法	橋本健夫副学長、 山地弘起准教授 (大学教育機能開 発センター)
14:10~ 14:30	質疑応答	

3.6 長崎大学 新しい教養教育の実施に向けた  
FD「平成23年度 教育革新シンポジウム」

(1) 趣旨

平成24年度より、長崎大学の教養教育は大きく  
変わる。本シンポジウムは、新たな教養教育の考  
え方と実施体制について十分理解を深めるために  
企画された。第1部では、日本学術会議における  
「大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会」  
(2008年~2010年)の下、教養教育・共通教育検  
討分科会の副委員長をなさった小林傳司・大阪大  
学教授をお招きし、当分科会での議論経過を踏ま  
えながら今後の教養教育のあるべき姿を論じてい  
ただいた。第2部では、本学における新たな教養  
教育のワーキンググループ・メンバーから、来年  
度以降の教養教育の理念と実施体制について解説  
された。

(2) 対象

教養教育担当者

(3) 日時

平成23年12月17日(土) 13:30~17:15

(4) 場所

総合教育研究棟3階講義室

(5) 参加数

98名

(6) プログラム

時間	内容	講師
13:30~ 13:45	挨拶	片峰茂学長
<b>第1部 基調講演</b>		
13:45~ 14:45	基調講演	小林傳司教授 (大阪大学)
14:45~ 15:00	質疑応答	
15:00~ 15:15	休憩	
<b>第2部 新たな教養教育の実施に向けて</b>		
15:15~ 15:35	全体説明	橋本健夫副学長
15:35~ 15:50	質疑応答	
15:50~ 16:10	全学モジュール例 心身の健康と生命	安武亨教授(医歯薬 学総合研究科)
16:10~ 16:30	全学モジュール例 安全安心できる社会	松田浩教授 (工学部)
16:30~ 17:10	総合討論	
17:10~ 17:15	閉会挨拶	橋本健夫副学長

4. おわりに

本稿では、大学教育機能開発センターの評価・FD 研究部門が関わる2つの事業「学生による授業評価」と「長崎大学FD・SD」について、平成23年の実施概要を報告した。